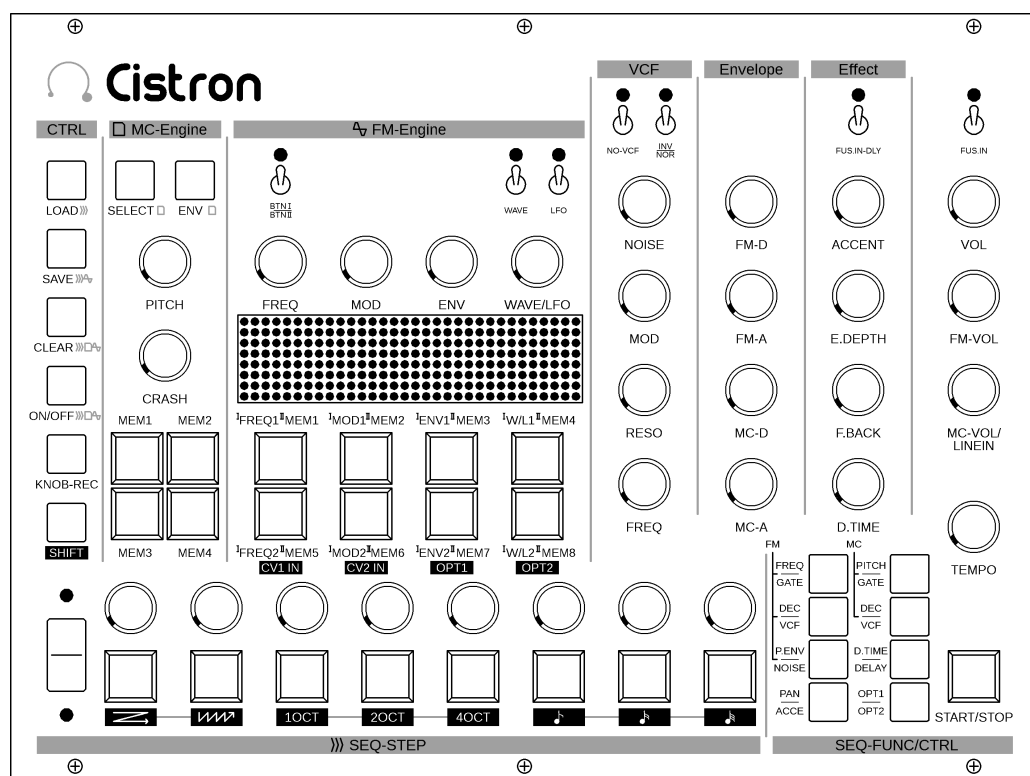


REON Cistron

取扱説明書



ファームウェア Ver2.10
2021/7 Copyright @ REON Corp., Ltd.

■取扱注意事項

必ずはじめにお読みください



警 告

1. 専用の AC アダプタ以外で使用しないでください。破損や最悪の場合、発煙、発火を招く恐れがあります。
2. 本体をストーブなど、火気のそばには絶対に設置しないでください。発煙、発火を招く恐れがあります。
2. 40°Cを超える直射日光の当たる場所や、高温、多湿下での使用はしないでください。故障の原因となります。
3. 間違った配線などにより、本体または外部の機器へ影響を及ぼす場合があります。
4. 長時間ご使用にならないときには、AC アダプタを抜いて保管してください。
5. 本体の分解、改造は絶対にしないでください。感電、故障の原因となります。また指示なく分解された場合はいかなる保障、修理もお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。



注 意

1. 紫外線の強い日光の当たる場所へ保管し続けると、本体の色が抜けてしまう場合があります。ご注意ください。
2. 本製品のパネルを清掃する場合は、シンナー、ベンジンなどの揮発性の高い溶剤や、アルカリ、酸性のクレンザーなどは使用しないでください。眼鏡拭きなどのやわらかい布で拭くようにしてください。
3. 本体の落下等により小さいお子様が怪我をされないように保管してください。
4. 本製品は電子機器です。火気に投入したり、水没は絶対にしないでください。また電子機器一般に通じる指定以外の使用方法は避けてください。
5. 本製品には音声信号や各種制御信号の入出力端子が設けられています。ケーブル接続により外部機器を接続する際、出力端子同士を接続するなど適切でない接続をおこなうと、製品の性能が落ちたり、破損する可能性があります。接続操作

の際は、十分にご注意ください。

6. 本製品に接続するメモ리카ードには、重要なデータを入れないでください。または、PC 等にデータのバックアップをお願いします。メモ리카ード内のデータの破損、消滅等により発生した損害に関して、当社は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

7. 本製品の FUSION IF 端子は、REON 製品の FUSION IF 対応の機器同士を接続する専用端子です。PC 等の外部機器には接続しないでください。外部機器に悪影響を与える可能性があります。

アフターサービス及び保証書

下記に示す無償修理規定に従い購入日より2ヵ年保証いたします。ただし、免責事項に該当する場合は、有償修理対応といたします。無償、有償に限らず製品の往復送料、お振込手数料等はおお客様のご負担となります。

無償修理規定

保証期間	購入日時(保証書捺印日時)より2ヵ年
保証内容	免責事項を除く無償修理。ただし往復送料は除く
免責事項	(イ)使用上の誤りまたは分解、改造を行ったことによる故障、 損傷 (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障、損傷 (ハ)火災、地震、水害、落雷などの天災地変、公害、塩害、異常電圧、水やその他の水分がかかったことによる故障、 破損 (ニ)消耗品の交換 (ホ)保証書の提示がない場合 (ヘ)本製品の用途以外の目的(演奏、音楽制作等)以外に使用されて故障、破損した場合 (ト)本書にお買い上げ日時、販売店名、お客様名の記載がない場合や、内容が書き換えられた場合

本書は日本国内においてのみ有効です。

目次

■ おもな機能とブロック図.....	7
■ 背面パネルとセットアップ.....	9
■ 正面パネルと各部の名称・操作.....	12
■ オリジナル FM 音源.....	18
○ FM 音源の音作り(4 パラメータ+2 スイッチ).....	18
○ 音色の保存と読み出し.....	19
○ ステップへの割り当て.....	20
○ つまみ位置の保存と読み出し(応用).....	20
■ メモリカードと MC 音源.....	22
○ 事前準備.....	22
○ 音声ファイルの保存と対応音声フォーマット.....	22
○ WAV ファイルの選び方.....	23
○ ステップへの割り当て.....	23
○ MC 音源の音作り.....	24
○ LINEIN 端子からの録音.....	24
■ シーケンサと FUNC ボタン.....	27
○ FUNC ボタン.....	27
○ 発音の ON/OFF、ステップ数設定.....	28
○ シーケンスパターンの保存・読み出し.....	28
○ パターンチェーン機能(複数のパターンをつなげる).....	29
○ パターンチェーンの保存・読み出し.....	30
■ 外部同期機能.....	32
○ CLKIN / CLKOUT 端子による同期.....	32
○ MIDI IN / MIDI OUT 端子による同期.....	32
○ USB による同期.....	32
■ ディスプレイの表示機能.....	33
■ SHIFT ボタンによる設定.....	35
○ シーケンス進行方向.....	36
○ FM 音源音域設定.....	36
○ クロックディバイダー.....	36
○ CV1IN/CV2IN 端子パラメータ割り当て.....	37
○ OPT1/OPT2 機能割り当て.....	38

○シャッフルレベル調整.....	40
○テンポの微調整.....	40
■MIDI シーケンサ機能.....	41
■FUSION インターフェース.....	43
○機能概要.....	43
○対応する LAN ケーブル.....	43
■ファームウェアアップデート.....	44
■トラブルシューティング	45
■仕様.....	48
■MIDI インプリメンテーションチャート.....	49
■故障、メンテナンスに関して.....	50
■保証書.....	52

■おもな機能とブロック図

Cistron は、音を作り込むことに主眼を置いた新しい概念のリズムマシンです。従来のようにプリセット音源を用いたリズムではなく、REON オリジナルの FM 音源を用いることで、一から音を作ることができます。作った音をメモリに保存し、それらをシーケンサのステップに割り当てることで、自分だけのオリジナルのリズムを演奏することができます。もちろん、リアルタイムに音をコントロールして演奏することも可能です。

加えて、Cistron はメモ리카ードを接続することができ、PC 等からコピーした音や本体で録音した音をサンプリング音源としてシーケンサのステップに割り当てることができます。

さらに、アナログ音源部にはノイズジェネレータ、VCF、VCA、ディレイを搭載し、リズム音にさまざまな表情を加えることができます。

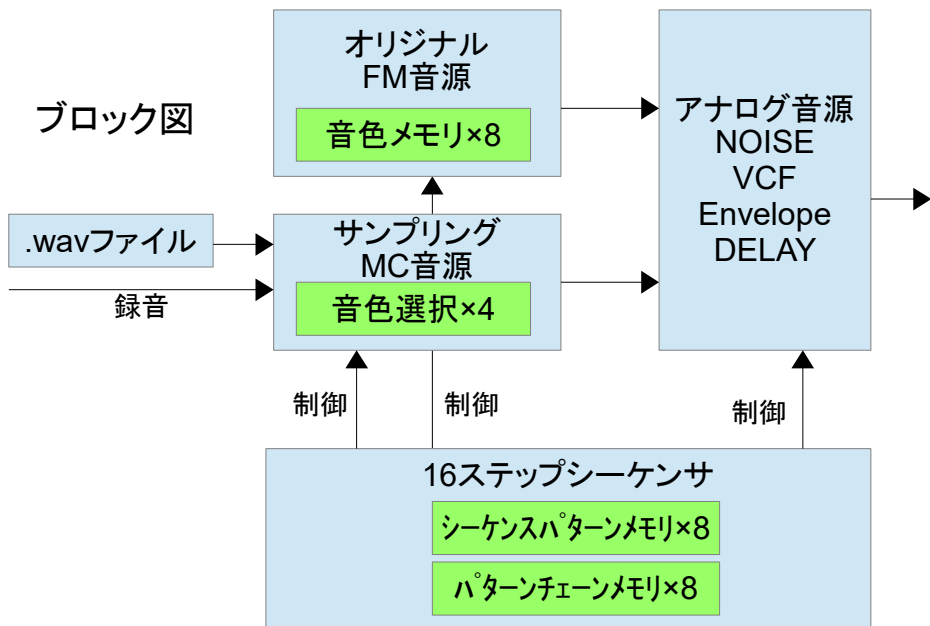
最大16ステップのシーケンサ部は、音のステップへの割り当てはもちろんですが、ディケイタイムやピッチエンベロープ、パンポットやディレイタイムなど様々なパラメータをステップごとに細かく調整することができる機能を持ちます。

作成した FM 音源の音は8個まで保存でき、読み込んだサンプリング音源の音は、4種類までボタンに割り当てることができます。また作成したシーケンスパターンは、最大8パターンまで保存することができ、演奏中に自由に読み出すことができます。加えて、シーケンスパターンを”くさり”のように自由に組み合わせることができるパターンチェーン機能を備えており、これも最大8チェーンまで保存、読み出しが可能です。

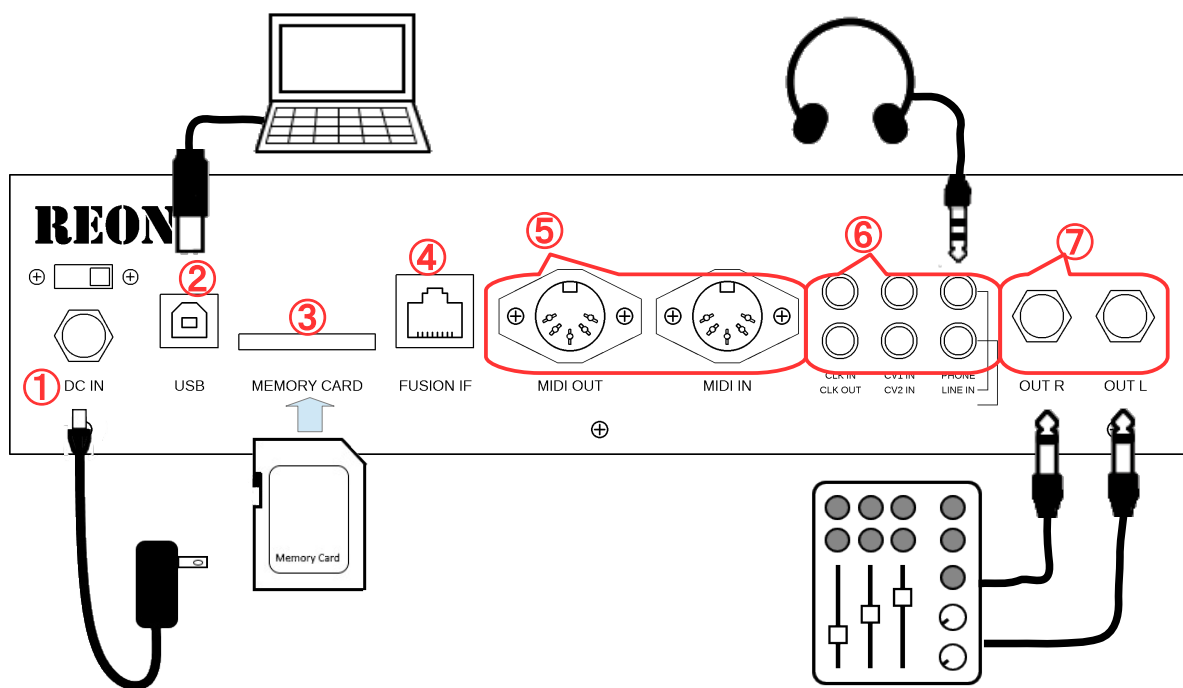
用語について:

FM 音源: REON LociII シンセサイザーを搭載した独自の FM 音源

MC 音源:メモ리카ードに録音・または PC 等からコピーした音を用いたサンプリング音源



■背面パネルとセットアップ



① AC アダプタ接続部

付属の専用 AC アダプタを接続してください。

② USB ケーブル接続部

USB TypeB ケーブルを使用して PC と接続することで、DAW ソフトウェアからの MIDI クロック信号を受信し、同期することができます。また、ファームウェアアップデート機能を利用することができます。ファームウェアアップデート方法については、44 ページとダウンロードしたアップデートファイルに同梱の説明書をお読みください。

③メモリカード挿入部

WAV ファイルを保存したメモリカードを挿入することで、サンプリング (MC) 音源を再生します。詳しくは 22 ページをお読みください。

④ FUSION インターフェース接続部

FUSION インターフェースに対応した REON 製品と特殊な LAN ケーブルを使用して接続することで、拡張された機能を使用することができます。詳しくは、40 ページをお読みください。

⑤ MIDI ケーブル接続部

MIDI IN 端子	受信した MIDI クロック(F8)信号およびスタート(FA)・コンティニュー(FB)・ストップ(FC)信号に同期して演奏します。
MIDI OUT 端子	Cistron のシーケンスに同期した MIDI クロック(F8)信号およびスタート(FA)・ストップ(FC)信号を出力します。 MIDI IN 端子より受信したノート信号等は、そのまま出力(スルー)します。

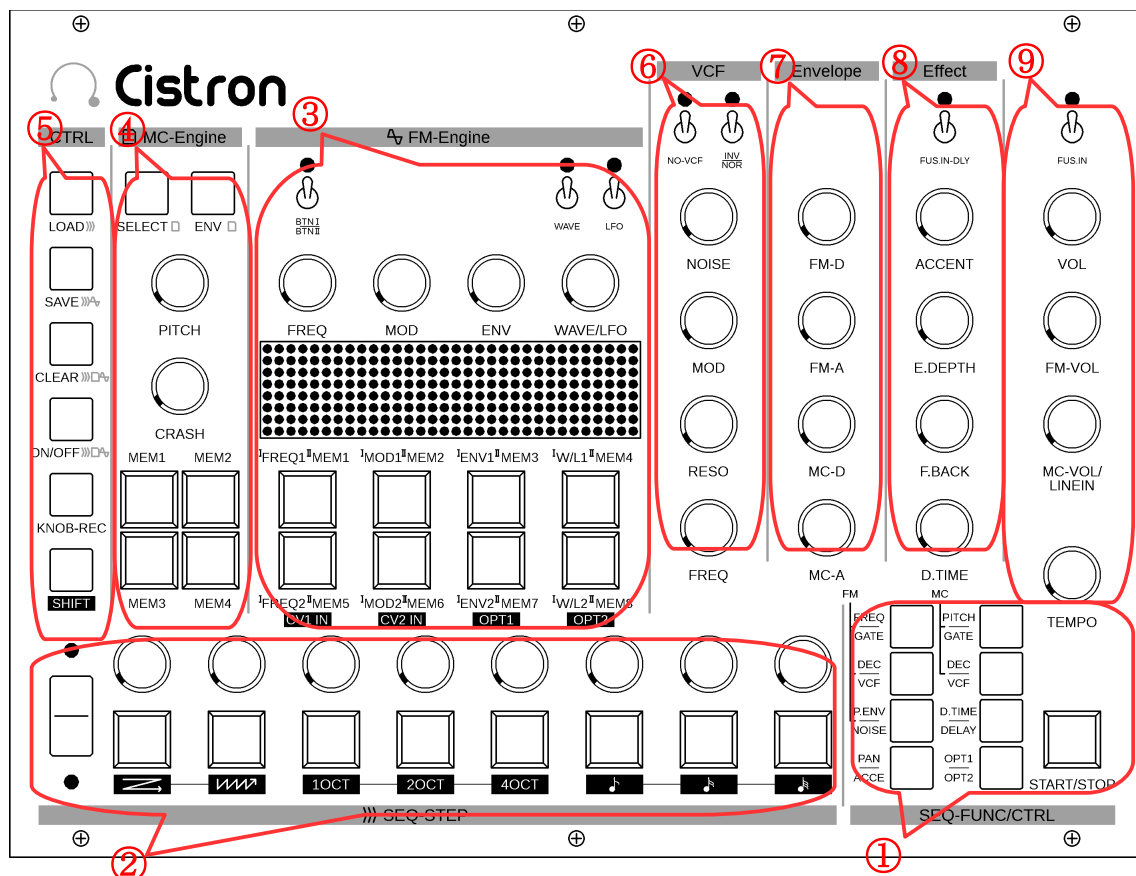
⑥各種信号接続部

CLKIN 端子	モジュラーシンセサイザー等のクロック信号を入力することで、同期して演奏することができます。なお、対応する電圧は、5~12V です。
CLKOUT 端子	Cistron のシーケンサに同期したクロック信号を出力します。なお、電圧は 5V で立ち上がり同期です。
CV1IN 端子	CV1 に割り当てるパラメータを選んだ上、外部からのコントロール電圧(CV)信号を入力することで、パラメータを CV でコントロールすることができます。パラメータの選び方は、37 ページをご覧ください。入力できる電圧範囲は、0~6V です。
CV2IN 端子	CV2 に割り当てるパラメータを選んだ上、外部からのコントロール電圧(CV)信号を入力することで、パラメータを CV でコントロールすることができます。パラメータの選び方は、37 ページをご覧ください。入力できる電圧範囲は、0~6V です。
PHONE 端子	ステレオミニプラグを使用して、ヘッドホンを接続できます。
LINEIN 端子	外部の音源を接続することで、メモ리카ードに音を録音することができます。録音方法は、24 ページをご覧ください。

⑦オーディオ出力部

OUT L 端子	左のオーディオ信号を出力します。モノラル標準プラグを接続してください。
OUT R 端子	右のオーディオ信号を出力します。モノラル標準プラグを接続してください。

■正面パネルと各部の名称・操作



①シーケンサファンクション/コントロール部

START/STOP ボタン	押すとシーケンサを再生・停止します。
FUNC ボタン×8個	②の8個のステップつまみおよび8個のステップボタンで設定する機能を切り替えます。ボタンの横に印刷されている機能名の <u>上側</u> がステップつまみ・ <u>下側</u> がステップボタンの機能を表します。

②シーケンサステップ部

ステップつまみ×8個	FUNC ボタンにより選択された機能のステップごとのレベルを調整します。
ステップボタン×8個	FUNC ボタンにより選択された機能のステップごとの ON/OFF を設定します。
ロッカースイッチ	ステップつまみおよびステップボタンで設定するステップの範囲を設定します。 上側:1～8ステップ、下側:9～16ステップ (ただし、SHIFT ボタンによりステップの進行方向を変更した場合は、上側:奇数ステップ、下側:偶数ステップとなります)

③ FM 音源エンジン部

BTNI/BTNII スイッチ	8個の FM メモリボタンの役割を選択します。(初心者の方は、まず BTNII の扱いに慣れることをお勧めします) 上側 (BTNI) : つまみ位置のメモリ (各2個) FM メモリボタンは、4つのつまみのそれぞれの位置を保存・読み出しするためのつまみメモリとなります。 下側 (BTNII) : 音色メモリ (8個) FM メモリボタンは、4つのつまみにより作成した最大8個の音色を保存、またシーケンサに割り当てする音色メモリとなります。
WAVE/LFO スイッチ	WAVE/LFO つまみがコントロールするパラメータを選択します。なお、スイッチの組み合わせにより、パラメータは両方割り当てすることも、どちらも割り当てないことも可能です。 上側:パラメータ割り当て ON 下側:パラメータ割り当て OFF
FREQ つまみ	FM 音源のメインオシレータの周波数(音の高さ)を調整します。
MOD つまみ	FM 音源の変調用オシレータの周波数を調整します。
ENV つまみ	FM 音源の変調のエンベロープを調整します。

WAVE/LFO つまみ	WAVE/LFO スイッチの組み合わせにより下記の機能として動作します。 WAVE:FM 音源のメインオシレータの波形を調整します。 左端:正弦波、中央:のこぎり波、右端:矩形波 LFO:FM 音源の変調用 LFO の周波数を調整します。
FM メモリボタン×8 個	BTNI の場合:4つのつまみの位置を保存・読み出しするつまみメモリ(FREQ1~2、MOD1~2、ENV1~2、W/L1~2)を選択します。 BTNII の場合:FM 音源を用いて作成した音を保存・読み出しする8つの音色メモリ(MEM1~8)を選択します。
ディスプレイ	FM 音源の各パラメータの現在値を表示するほか、さまざまな表示をおこないます。詳細は、33 ページをご覧ください。

④ MC (メモ리카ード) 音源エンジン部

SELECT ボタン	このボタンを押しながら、MC メモリボタンを少し長めに押すと、選択された MEM1~4 の各フォルダ内で再生する WAV ファイルを切り替えます。(メモ리카ードの詳細な構成と対応ファイル形式については、22 ページをご覧ください)
ENV ボタン	このボタンを押しながら MC メモリボタンを押すと、選択された音色のエンベロープの ON/OFF を切り替えます。OFF にすると、例えばロングトーンの再生が可能になります。 MC メモリボタン点灯:エンベロープ ON、消灯:エンベロープ OFF
PITCH つまみ	メモ리카ード音源の再生ピッチ(および再生速度)を調整します。
CRASH つまみ	メモ리카ード音源のビットクラッシュの強さを調整します。 左端:ビットクラッシュ OFF、右端:ビットクラッシュ最大
MC メモリボタン×4 個	メモ리카ード内の4つのフォルダ(MEM1~4)を切り替え、音を選択します。

⑤コントロールボタン部

LOAD ボタン	このボタンを押しながら8個のステップボタンのいずれかを押すと、保存したシーケンスパターンを読み出します。
SAVE ボタン	このボタンを押しながら8個のステップボタンのいずれかを押すと、現在のシーケンスパターン(各 FUNC ボタンにより設定したステップつまみ・ステップボタン、音色ごとの発音の ON/OFF ・ステップ数、 SHIFT ボタン設定)を保存します。 このボタンを押しながら8個の FM メモリボタンのいずれかを押すと、現在の FM 音源の音色を保存します。
CLEAR ボタン	このボタンを押しながら8個のステップボタンのいずれかを押すと、通常モードでは該当のシーケンスパターンを消去します。パターンチェーンモードでは該当のパターンチェーンを消去します。 このボタンを押しながら8個の FM メモリボタンのいずれかを押すと、該当の FM 音源の音色を消去します。 このボタンを押しながら4個の MC メモリボタンのいずれかを押すと、現在選択されているメモ리카ード内の WAV ファイルを削除します。
ON/OFF (ミュート) ボタン	このボタンを押しながら8個の FM ボタンまたは4個の MC メモリボタンのいずれかを押すと、該当の音色の再生の ON/OFF (ミュート) を切り替えます。 FM/MC メモリボタン点灯: 再生 ON、消灯: 再生 OFF このボタンを押しながらステップボタンを押すことで、ステップ数を設定します。例えば、ロッカースイッチを下に倒した状態(9～16ステップ設定)で左から3番目のステップボタンを押すと、ステップ数は11になります。
KNOBREC ボタン	シーケンサ再生中に、このボタンを押しながら⑥～⑧の12個のいずれか1つのつまみを回すことで、つまみの動きを覚えて自動再生することができます。 覚えられるのは最大で16ステップ8周分です。同時に覚えられるのは1つのつまみのみですが、操作を繰り返すことで12個すべて自動再生することが可能です。覚えたつまみは、再度操作することで自動再生は解除されます。また、本機能は保存不可であり、電源 ON の間のみ有効です。

SHIFT ボタン	<p>SHIFT ボタンを押しながら、白抜き文字の他の各ボタンを押すことで、下記のようなさまざまな詳細設定ができます。詳しくは、35 ページをご覧ください。</p> <p>①シーケンス進行方向 ② FM 音源音域設定 ③クロックディバイダー ④ CV1IN/CV2IN 端子パラメータ割り当て ⑤ OPT1/OPT2 機能割り当て</p>
-----------	---

⑥ VCF 部

NO-VCF スイッチ	ノイズジェネレータの生成音に VCF をかけるかどうかを選択します。 上側: VCFON、下側: VCFOFF
INV/NOR スイッチ	VCF の MOD のピッチエンベロープの方向を選択します。 上側: ピッチ上昇、下側: ピッチ下降
NOISE つまみ	NOISE 出力が ON にされたステップにおけるノイズジェネレータの出力レベルを調整します。
MOD つまみ	VCF の FREQ のピッチエンベロープの強さを調整します。
RESO つまみ	VCF のレゾナンスの強さを調整します。 左端: レゾナンス最小、右端: レゾナンス最大(発振)
FREQ つまみ	VCF のフィルタの周波数(開き具合)を調整します。 左端: フィルタを閉じる、右端: フィルタを開く

⑦エンベロープ部

FM ディケイタイムつまみ	FM 音源のディケイタイムの長さを調整します。
FM アタックタイムつまみ	FM 音源のアタックタイムの長さを調整します。
MC ディケイタイムつまみ	MC 音源のディケイタイムの長さを調整します。
MC アタックタイムつまみ	MC 音源のアタックタイムの長さを調整します。

⑧エフェクト部

FUS.IN-DLY スイッチ	FUSION-IF から入力された音声信号にディレイをかけるかを選択します。 上側:ディレイ ON、下側:ディレイ OFF 詳しくは 43 ページをご覧ください。
ACCENT つまみ	アクセントが ON にされたステップにおけるアクセントの強さを調整します。
E.DEPTH つまみ	ディレイの深さを調整します。
F.BACK つまみ	ディレイのフィードバックレベルを調整します。(注)右端に回すと発振します。非常に大きな出力レベルになるので外部機器を損傷しないよう十分にご注意ください。
D.TIME つまみ	ディレイタイムの長さを調整します。

⑨ボリューム・テンポ部

FUS.IN スイッチ	FUSION-IF から音声信号を入力するかを選択します。 上側:入力 ON、下側:入力 OFF 詳しくは 43 ページをご覧ください。
VOL つまみ	マスターボリュームを調整します。
FM-VOL つまみ	FM 音源の音量を調整します。
MC-VOL/LINEIN つまみ	MC 音源の音量を調整します。また、メモ리카ードへの録音中は入力レベルを調整します。
TEMPO つまみ	シーケンサのテンポを調整します。

■オリジナル FM 音源

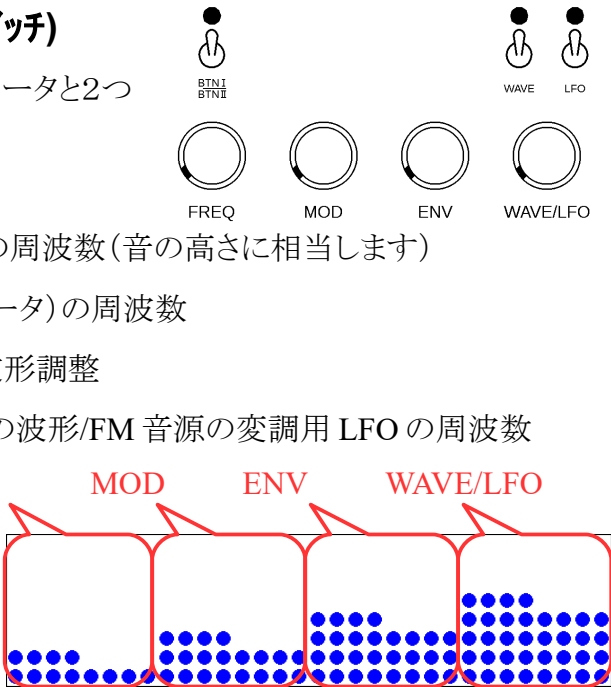
○ FM 音源の音作り(4 パラメータ+2 スイッチ)

REON オリジナル FM 音源は、4つのパラメータと2つのトグルスイッチを用いて音作りをします。

パラメータはそれぞれ下記の通りです。

- ・FREQ:FM のメインオシレータ(キャリア)の周波数(音の高さに相当します)
- ・MOD:FM の変調用オシレータ(モジュレータ)の周波数
- ・ENV:FM の変調に用いるエンベロープ波形調整
- ・WAVE/LFO:FM 音源のメインオシレータの波形/FM 音源の変調用 LFO の周波数

また、各パラメータの現在値は、右 **FREQ** **MOD** **ENV** **WAVE/LFO** 図のようにディスプレイに表示されます。



WAVE/LFO の2つのトグルスイッチは、4つ目のパラメータの割り当てを切り替えます。スイッチの組み合わせによって、両方割り当てることや、どちらも割り当てないことも可能です。

- ・WAVE スイッチ ON(上側) :WAVE パラメータに割り当て
- ・LFO スイッチ ON(上側) :LFO パラメータに割り当て

エディットする音色を切り替えたとき、その音色の WAVE/LFO の割り当てが、下図のようにディスプレイに表示されます。

WAVE スイッチ	OFF	ON	OFF	ON
LFO スイッチ	OFF	OFF	ON	ON
ディスプレイ表示				

○音色の保存と読み出し

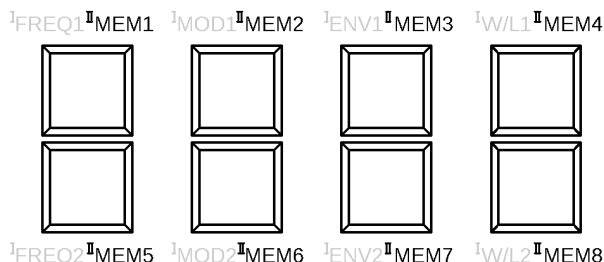
8個の FM メモリボタンには、2つの機能が用意されています。

BTN I : つまみ位置のメモリ (各2個)

BTN II : 音色メモリ (8個)

今回は、II の機能を使用するため

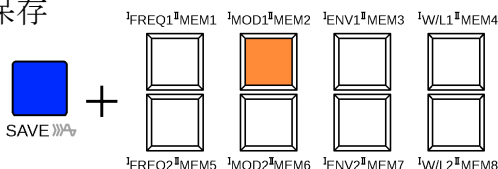
BTNI/BTNII スイッチを下側に倒しておきます。



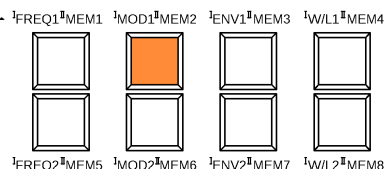
作成した音は、8つまでメモリに保存することができます。

8個の FM メモリボタンの中で、点灯または点滅している番号が、現在選択されている (エディット中) 音色です。

音色を保存するには、**SAVE** ボタンを押しながら、保存したい番号の FM メモリボタンを押します。ボタンが点滅し、点滅を終えたら保存完了です。なお保存されるのは、4つのツマミのパラメータ及び **WAVE/LFO** スイッチの割り当てです。



音色を読み出す (音色の切り替え) には、読み出したい番号の FM メモリボタンを押します。すると、保存されたパラメータ値がディスプレイ上に読み出されます。なお、音色を読み出すと、エディット中の音色は失われます。そのため、音色の保存は音色の切り替え前に行ってください。ただし、シーケンサが動いている間は、音色を切り替えても編集した音色が維持されます (停止すると元の音色に戻ります)。これによって、**SAVE** 機能を使わずに演奏中にリアルタイムに音色を編集・切替することができます。



< ! > 保存中は、絶対に本体の電源を切らないでください。データ破損の恐れがあります。

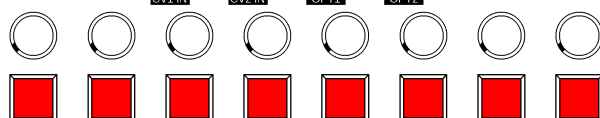
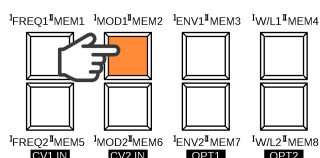
○ステップへの割り当て

FM 音源のステップへの割り当ては、左上の FUNC ボタン (FM-FREQ/GATE) を押しておこないます。

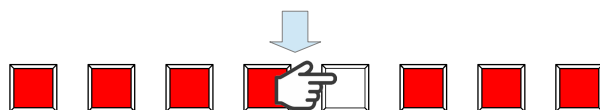
FM		MC	
FREQ		PITCH	
GATE		GATE	
DEC		DEC	
VCF		VCF	
P ENV		D TIME	
NOISE		DELAY	
PAN		OPT1	
ACCE		OPT2	

まず8つの FM メモリボタンのうち、ステップに割り当てたい番号を押して点滅した状態にします。その状態で、8つのステップボタンのうち任意のステップボタンを押すと、FM メモリボタンと同じ色に点灯し、ステップに割り当てられます。(デフォルトでは左端のロッカースイッチを上倒すと1～8ステップ、下に倒すと9～16ステップとなります。)この操作を割り当てる音色の回数だけ繰り返します。(ただし、同ステップに割り当てられる音色は1種類です)なお、すでに割り当てられているステップボタンを押すと消灯し、割り当てが解除されます。

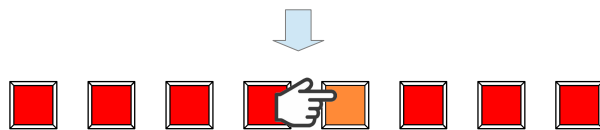
① MEM 番号の選択



②割り当て済みのステップボタンを押す ⇒ 割り当て解除

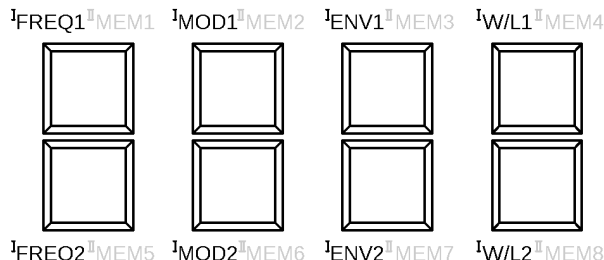


③未割り当てのステップボタンを押す ⇒ MEM 番号を割り当て



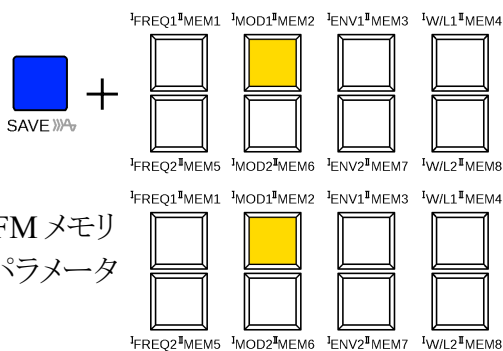
○つまみ位置の保存と読み出し(応用)

FM 音源には、音色を保存する機能に加えて、4つのパラメータそれぞれのつまみの位置を2つまで保存できる「つまみメモリ」を有しています。この機能は、BTNI の機能であるため、使用する際、BTNI/BTNIⅡ スイッチ上側に倒しておきます。



4つのつまみの真下に位置する2つの FM ボタンが、それぞれのつまみに対応する FM メモリボタンです。

ツマミ位置を保存するには、**SAVE** ボタンを押しながら、保存したい番号の FM メモリボタンを押します。ボタンが点滅し、点滅を終えたら保存完了です。



ツマミ位置を読み出すには、読み出したい番号の FM メモリボタンを押します。すると、保存されたツマミ位置 (パラメータ値) がディスプレイ上に読み出されます。

< ! > 保存中は、絶対に本体の電源を切らないでください。データ破損の恐れがあります。

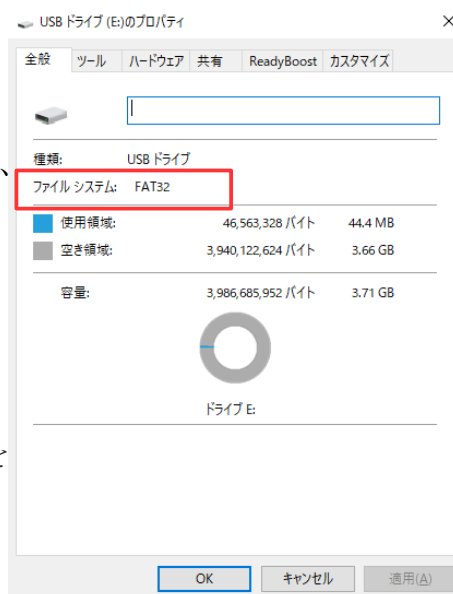
BTNI の機能使用時は、BTNII の機能である音色の切り替えはできません。音色を切り替えたい場合は、BTNI/BTNII スイッチを下側に倒してください。

■メモ리카ードとMC 音源

○事前準備

Cistron が持つメモ리카ードを用いたサンプリング (MC) 音源を利用するには、事前のセットアップが必要です。REON 提供のメモ리카ードを使用する場合は、このステップを飛ばしてください。まず PC 上でメモ리카ードを開き、フォーマット形式が **FAT32** であることを確認します。異なるフォーマットである場合、再フォーマットが必要です。

正しければ、メモ리카ード内に下図のように **MEM1, MEM2, MEM3, MEM4** という名前のフォルダを作成します。



名前	更新日時	種類	サイズ
MEM1	2020/11/09 11:43	ファイル フォルダ	
MEM2	2020/11/09 11:43	ファイル フォルダ	
MEM3	2020/11/09 11:43	ファイル フォルダ	
MEM4	2020/11/09 11:43	ファイル フォルダ	

○音声ファイルの保存と対応音声フォーマット

対応する音声フォーマットは、WAV 形式の音声ファイルで、下表に記載のものに限ります。これ以外のものを再生した場合、再生されない・音がおかしい等の症状につながりますので、お持ちの音声ファイルの詳細が不明な場合は、WAV ファイル解析ソフト等をご使用いただき、ご確認頂きますようお願いいたします。

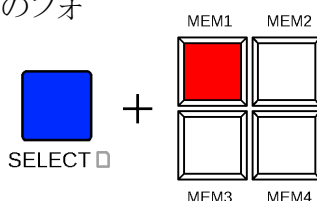
データフォーマット	PCM のみ
サンプリングレート	44.1kHz または 48kHz
1 サンプルあたりビット数	8bit または 16bit
チャンネル数	モノラルまたはステレオ

WAV ファイルが準備できましたら、メモ리카ード内の MEM1~4 のフォルダの中に保存します。ファイル名は、半角英数字と半角記号のみ(0~9, a~z, A~Z, -, _)を使用し、最大 8 文字

まで(拡張子.wavを除く)としてください。ひらがな、カタカナ、漢字、全角文字等は使用できませんのでご注意ください。なお、Cistron上で読み込めるのは、各フォルダ最大16個のファイルまでです。Cistron上で同時に選択できる音声ファイルは、フォルダごとに1ファイルのみですので、同時に使用したい音色は別フォルダに保存することをお勧めします。例えば、キック・スネア・ハイハットの音色を使いたい場合、MEM1にキック、MEM2にスネア、MEM3にハイハットといったように保存するとよいです。保存が完了したら、Cistron裏面のメモ리카ード挿入部に差し込みます。

○WAVファイルの選び方

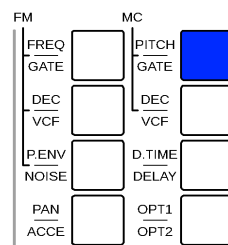
4つのMCメモリボタン(MEM1~MEM4)の名前が、メモ리카ード上のフォルダ名に対応します。WAVファイルを選ぶには、SELECTボタンを押しながら、選びたいWAVファイルがあるフォルダ名のMCメモリボタンを少し長めに押します。すると、該当フォルダの中でWAVファイルが切り替わり、ディスプレイ上にファイル名が表示されます。これを、選びたいWAVファイルの名前が表示されるまで繰り返します。

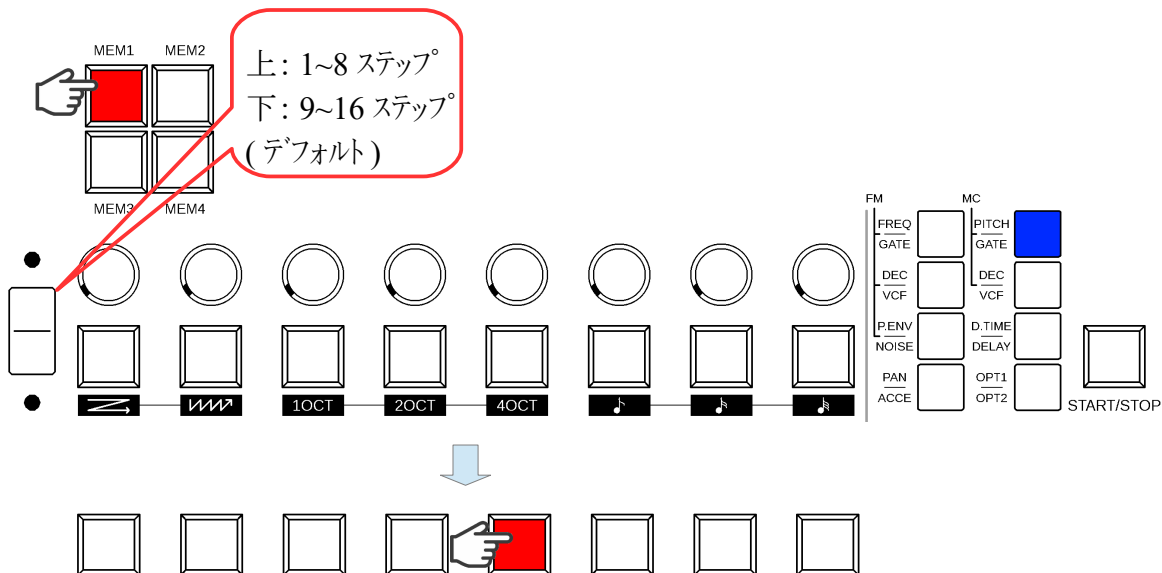


○ステップへの割り当て

MC音源のステップへの割り当ては、右上のFUNCボタン(MC-PITCH/GATE)を押しておこないます。

まず4つのMCメモリボタンのうち、ステップに割り当てたい番号を押して、点滅した状態にします。その状態で、8つのステップボタンのうち任意のステップボタンを押すと、MCメモリボタンと同じ色に点灯し、ステップに割り当てられます。(デフォルトでは左端のロッカースイッチを上に戻すと1~8ステップ、下に倒すと9~16ステップとなります。)この操作を割り当てる音色の回数だけ繰り返します。(ただし、同ステップに割り当てられる音色は1種類です)なお、すでに割り当てられているステップボタンを押すと消灯し、割り当てが解除されます。





○ MC 音源の音作り

MC 音源は、2つのパラメータを用いて音作りをします。

パラメータはそれぞれ下記の通りです。

- ・PITCH: メモリカード音源の再生ピッチ (および再生速度) を調整します。
- ・CRASH: メモリカード音源のビットクラッシュの強さを調整します。

左端: ビットクラッシュ OFF、右端: ビットクラッシュ最大



○ LINEIN 端子からの録音

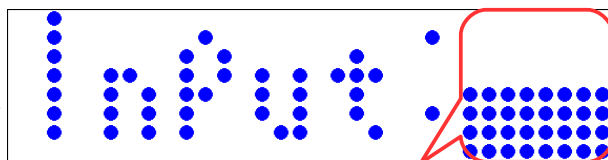
Cistron は、外部の音源・シンセサイザー等の音声を入力・録音し、MC 音源で使用する WAV ファイルとして保存する機能を有しています。ただし、メモリカードへの録音を行うには、メモリカードにスピード性能が要求されます。録音には、**30MB/S**

(UHS-III, V30 等) 以上のスピードを持つメモリカードを使用することを推奨しています。録音機能を利用するためには、以下のステップに従います。

①シーケンスを停止した状態で Cistron 裏面の LINEIN 端子に録音する機器の信号線 (モノラルミニプラグ) を挿入します。すると録音モードに入り、4つの MC メモリボタンが点滅します。

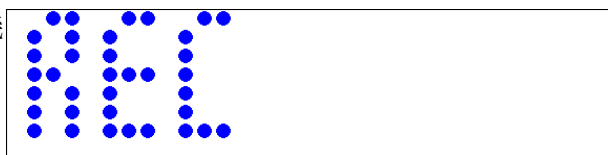
②4つのMCメモリボタンのうち、録音したWAVファイルを保存したい番号を押します。

③入力レベル調整モードに入ります。録音対象機器の音を鳴らしたときに、入力レベルがオーバーフローしないように、レベルを調整します。MC-VOL/LINEINつまみを回すことで、入力レベルを調整できます。

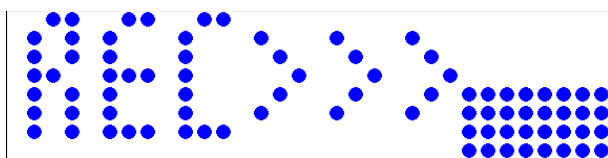


入力レベル

④START/STOPボタンを押すと、録音待機に入ります。この状態で、録音対象機器の音声信号を検出すると、自動で録音を開始します。

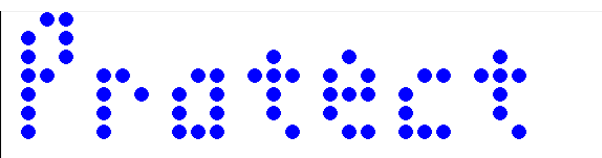


⑤音声信号を検出すると、録音中となります。録音を終了するときは、START/STOPボタンを押します。なお、録音可能な最大時間は10秒ですので、録音開始から10秒以内にボタンを押してください。

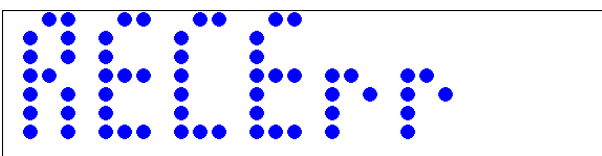


⑥録音が終了すると、選択したフォルダ内に自動で名前がつけられたWAVファイルとして保存されます。ファイル名は、例えばMEM1フォルダを選んだ場合MEM1_01.WAVなどとなります。なお、録音WAVファイルの形式は、モノラル,48kHz,16bitです。

●Protectと表示されるときは、メモ리카ード本体のLockスイッチがONになっているため、録音できません。LockスイッチをOFFにしてください。



●録音中、RECErrと表示されたときは、メモ리카ードのスピード不足によりデータの欠損が生じています。WAVファイルは保存されますが、音質に問題がある場合があります。



すので再録音をお勧めします。録音を繰り返しても、RECErr が出続ける場合は、下記の原因と対策が考えられます。

- ・メモ리카ードへの録音を行うには、メモ리카ードに書き込みスピード性能が要求されます。録音には、**30MB/S (UHS-III,V30 等)**以上のスピードを持つメモ리카ードを使用することを推奨しています。

- ・メモ리카ードに、**WAV** ファイル以外のデータを入れていませんか？メモ리카ードの容量上は問題がない場合であっても、多くのデータを入れることでスピードが低下する可能性があります。

- ・メモ리카ードは、過去に多くのデータ読み書き、消去をして使い込んだものではありませんか？このようなメモ리카ードは、スピードが不足する可能性があります。対策として、データをバックアップの上、再フォーマットする方法があります。

■シーケンサとFUNC ボタン

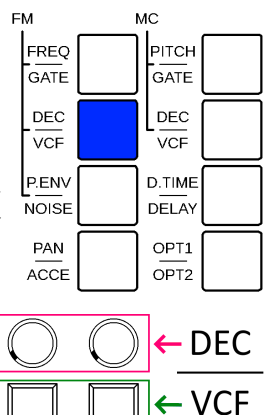
○ FUNC ボタン

FUNC ボタンには、ステップごとのつまみとボタンを使って設定できる様々なパラメータが用意されています。それぞれの FUNC ボタンのそばには、上側と下側に2つのパラメータが印刷されています。上側のパラメータはステップごとのつまみに割り当てられるパラメータを表し、下側のパラメータはステップごとのボタンに割り当てられるパラメータを表しています。例えば、

右図の FUNC ボタンでは、つまみを使って FM のディケイタイムを調整し、ボタンを使って

VCF の ON/OFF を設定することができます。

FUNC ボタンを用いてステップごとに設定できる機能の詳細を下記に示します。



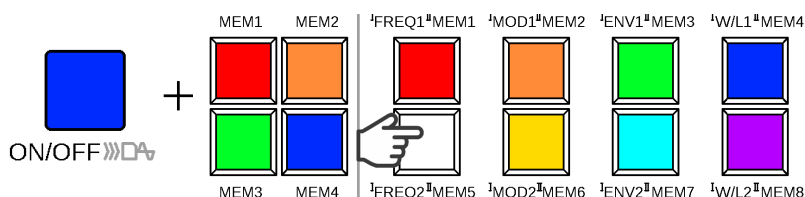
FM-FREQ	FM 音源の FREQ を調整します。	MC-PITCH	MC 音源の PITCH を調整します。
FM-GATE	FM 音源に MEM1~8 の音を割り当てます。	MC-GATE	MC 音源に MEM1~4 の音を割り当てます。
FM-DEC	FM 音源のディケイタイムを調整します。	MC-DEC	MC 音源のディケイタイムを調整します。
FM-VCF	FM 音源の VCF の ON/OFF を設定します。	MC-VCF	MC 音源の VCF の ON/OFF を設定します。
FM-P.ENV	FM 音源のピッチエンベロープを調整します。(中央で OFF、左に振るとピッチ下降、右に振るとピッチ上昇)	D.TIME	FM/MC 音源共通 のディレイタイムを調整します。
FM-NOISE	FM 音源にミックスされるノイズジェネレータの発音の ON/OFF を設定します。	DELAY	FM/MC 音源共通 のディレイの ON/OFF を設定します。
PAN	FM/MC 音源共通 のパンポットを調整します。	OPT1	OPT1 に設定された機能を調整します。詳細は 38 ページ
ACCE	FM/MC 音源共通 のアクセントの ON/OFF を設定します。	OPT2	OPT2 に設定された機能を設定します。詳細は 38 ページ

FUNC 機能のうち、ステップつまみで調整する機能は、電源投入時”中央の値”に設定されています。また、CLEAR ボタンを押しながらいずれかの FUNC ボタンを押すと、該当ボタンの機能のうち、ステップつまみで調整する機能の値を全ステップ”中央の値”にリセットします。ステップボタンで設定する機能は、電源投入時 FM-GATE に MEM1 が割り当てられており、FM-VCF、MC-VCF、OPT2 に ON の設定がされています。

○発音の ON/OFF、ステップ数設定

ON/OFF ボタンを押しながら、FM の MEM1~8 ボタンまたは MC の MEM1~4 ボタンを押すことで、音色ごとに発音するかどうかを設定できます。ON/OFF ボタンを押したときに点灯している音色のみが発音されます。この機能を駆使して、音を少しずつ加えたり減らしたりして演奏することが可能です。さらに、ON/OFF ボタンを押しながらステップボタンを押すことで、ステップ数を設定することができます。例えば、ロッカースイッチを下に倒した状態(9~16ステップ設定)で左から3番目のステップボタンを押すと、ステップ数は11になります。

発音の ON/OFF



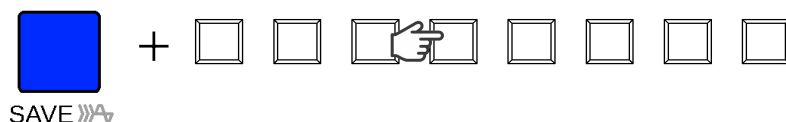
ステップ数設定



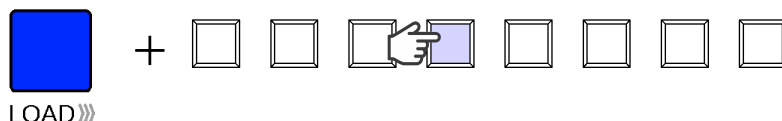
○シーケンスパターンの保存・読み出し

各 FUNC ボタンにより設定したつまみの値・ボタンの ON/OFF、および音色ごとの発音の ON/OFF・ステップ数、SHIFT ボタン設定は、最大8パターンまで保存、読み出しができます。保存する場合は、SAVE ボタンを押しながら、8個のステップボタンのいずれかを押します。するとパターンが選択したボタンの位置に保存され、ボタンが点灯します(保存済み)。読み出す場合は、LOAD ボタンを押しながら、読み出すステップボタンを押します。読み出しは演奏中も可能です。

シーケンスパターン保存



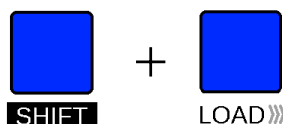
シーケンスパターン読み出し



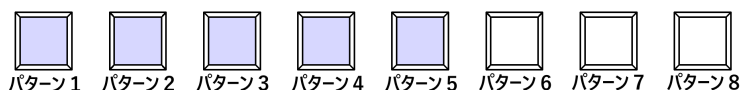
○パターンチェーン機能(複数のパターンをつなげる)

パターンチェーン機能とは、複数のシーケンスパターンを”くさり”(チェーン)のように自由につないで演奏する機能です。本機能を使用するには、あらかじめ”くさり”の素となるシーケンスパターンをいくつか保存しておく必要があります。その上で、パターンチェーンを利用するには、SHIFT ボタンを押しながら LOAD ボタンを押して「パターンチェーンモード」に入ります。すると、LOAD ボタンが常に点灯した状態になります。この状態は、パターンチェーンモードであることを表します。本機能を解除するには、もう一度 SHIFT ボタンを押しながら、LOAD ボタンを押します。LOAD ボタンが消灯し、通常モードとなります。

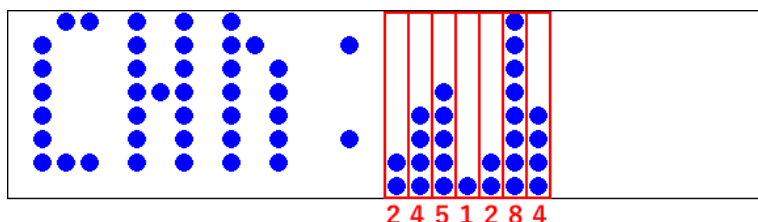
パターンチェーンモードの ON/OFF



パターンチェーンモードでは、8つのステップボタンは保存済みのシーケンスパターンを示しており、保存しているパターンは白く点灯します。組み合わせたいパターンの順にステップボタンを押すことで、パターンチェーンを作成することができます。



また作成中は、図の例のようにディスプレイに現在のパターンチェーンを表示します。例では、パターン2⇒パターン4⇒パターン5⇒パターン1⇒パターン2⇒パターン8⇒パターン4の7つのパターンが組み合わされていることを表しています。パターンは最大で16個まで組み合わせることができます。また演奏中は、現在のパターンの表示が点滅します。



現在のパターンチェーンを確認したい場合は、LOAD ボタンを押してください。しばらくの間ディスプレイに表示します。

パターンチェーンをディスプレイに表示



LOAD »»

現在のパターンチェーンをリセットしたい場合は、CLEAR ボタンを短く押してください。

パターンチェーンのリセット



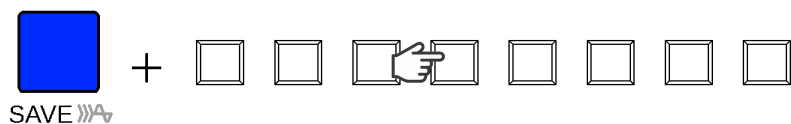
CLEAR »»☞

なお、パターンチェーンモードでは、FUNC ボタンを使用したステップボタンやステップつまみの機能は使用できません。(FM 音源/MC 音源のステップへの割り当て、ステップごとのピッチ・ディケイタイムの調整など)これらの操作は、パターンチェーンモードを解除してから実施してください。

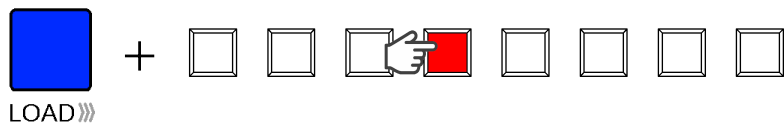
○パターンチェーンの保存・読み出し

作成したパターンチェーンは、最大8チェーンまで保存、読み出しができます。保存する場合は、パターンチェーンモードに入った状態 (LOAD ボタンが常に点灯)で、SAVE ボタンを押しながら、8個のステップボタンのいずれかを押します。するとパターンが選択したボタンの位置に保存され、ボタンが赤く点灯します (保存済み)。読み出す場合は、LOAD ボタンを押しながら、読み出すステップボタンを押します。読み出しは演奏中も可能です。

パターンチェーン保存



パターンチェーン読み出し



なお、パターンチェーンモードでは、個々のシーケンスパターンの保存、読み出しはできません。これらの操作は、パターンチェーンモードを解除してから実施してください。

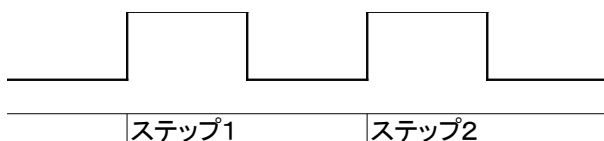
■外部同期機能

Cistron は、外部のシーケンサやリズムマシン等と同期演奏するための様々な端子を有しています。

○ CLKIN / CLKOUT 端子による同期

CLKIN 端子にプラグを接続すると、CLKIN 端子に入力されるクロックに同期(立ち上がり同期)して動作する外部同期モードに移行します。なお、入力できるクロック信号はデューティ 50%で、電圧は 5~12V です。これ以外のデューティ信号は動作保証できません。

CLKOUT 端子からは、Cistron のステップに同期したクロック信号(立ち上がり同期)を出力します。出力電圧は 5V です。



○ MIDI IN / MIDI OUT 端子による同期

MIDI IN 端子からタイミングクロック信号を受信すると、クロック信号(F8)に同期して動作する外部同期モードに移行します。スタート信号(FA)またはコンティニュー信号(FB)を受信するとシーケンスを再生し、ストップ信号(FC)を受信するとシーケンスを停止します。

MIDI OUT 端子からは、Cistron のシーケンスに同期した MIDI クロック(F8)信号およびスタート(FA)・ストップ(FC)信号を出力します。また、MIDI IN 端子より受信したノート信号等は、そのまま出力(スルー)します。

○ USB による同期

USB ケーブルを用いて DAW ソフトウェアを起動した PC と接続し、DAW ソフトウェアからの MIDI クロック信号を受信すると、クロック信号に同期して動作する外部同期モードに移行します。この機能を使用するためには、DAW ソフトウェア上で下記の操作が必要です。

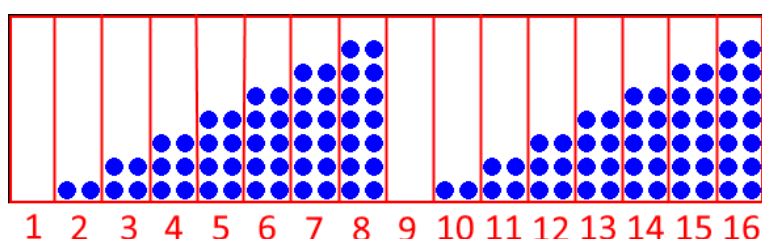
- ① MIDI 出力デバイスとして、「REON Cistron」を選択してください。
- ② MIDI クロック・スタート・ストップ信号の出力を ON にしてください。

■ディスプレイの表示機能

ディスプレイには、通常時はFM音源の各パラメータの現在値を表示します。一方で、その他の操作をしたときに、様々な表示をする機能を有しています。

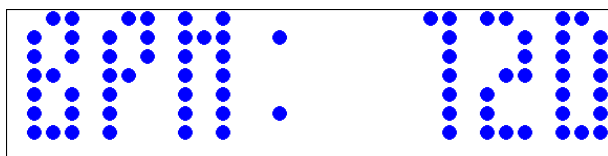
①ステップつまみ現在値

ステップつまみを操作したとき、ステップごとの現在のつまみのレベルを表示します。下図のように、ディスプレイを2列ごとに分解し、1～16ステップそれぞれのレベルを16個のドットを使って表現します。

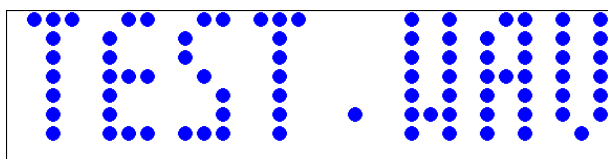


②テンポの現在値

TEMPOつまみを操作したとき、現在のテンポをBPM(1分間あたりの拍数)で表示します。



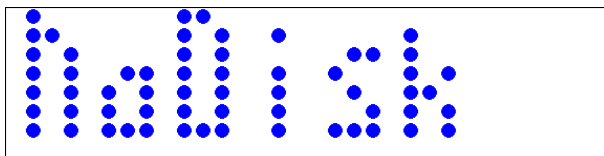
③メモ리카ード内のファイル名



MCメモリボタンを押したときや、WAVファイルを選択したときなど、ファイル名を8文字まで表示します。ただし、半角英数字、半角記号(A~Z,a~z,0~9,-,_)以外は表示されないため、これ以外の文字(ひらがな、カタカナ、漢字、全角文字など)をファイル名に使用しないでください。

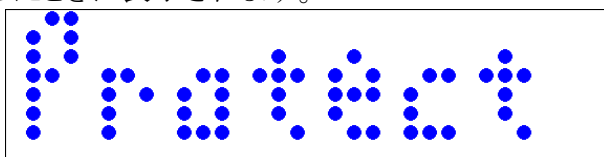
④メモ리카ードがない場合の警告表示

メモ리카ードが挿入されていない場合や、非対応のメモ리카ードである場合など、NoDisk と警告表示されます。



⑤メモ리카ードの Lock スイッチ ON 表示

メモ리카ードの Lock スイッチが ON(書き込み・消去禁止)になっているときに、録音やファイルの消去をしようとしたときに表示されます。



■SHIFT ボタンによる設定

白抜き文字の **SHIFT** ボタンを押しながら、白抜き文字の他の各ボタンを押すことで、下記のようなさまざまな詳細設定ができます。また、**SHIFT** ボタンを押しながらステップつまみを回すことで、下記のパラメータを調整することができます。一回の **SHIFT** ボタンの操作につき調整できるステップつまみのパラメータは1種類のみです。また、ステップつまみによる各パラメータ(⑥～⑧)による設定は、次回電源投入時にも適用されます。

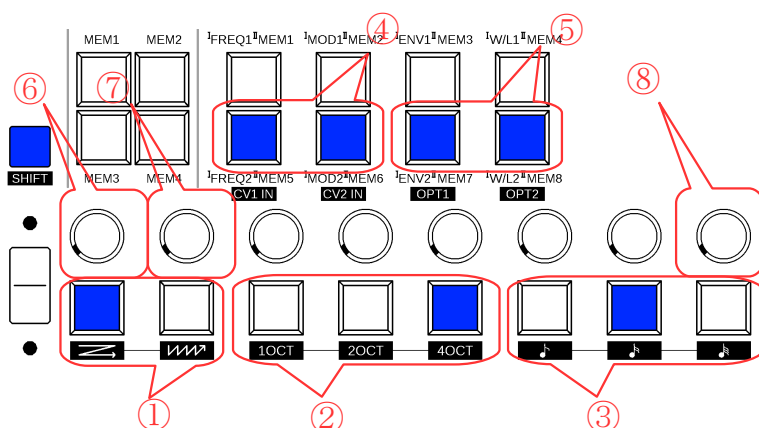
<！>SHIFTボタン操作中は、絶対に本体の電源を切らないでください。データ破損の恐れがあります。

白抜き文字ボタン

- ①シーケンス進行方向
- ② FM 音源音域設定
- ③クロックディバイダー
- ④ CV1IN/CV2IN 端子パラメータ
割り当て
- ⑤ OPT1/OPT2 機能割り当て



ステップつまみ

- ⑥シャッフルレベル調整
- ⑦ MIDI シーケンサ機能の
デューティ調整
(詳細は 41 ページ)
- ⑧テンポの微調整






○シーケンス進行方向

左下のロッカースイッチの設定と、各ステップつまみ・ステップボタンに割り当てられるステップの関係を設定します。(仮想的に、ロッカースイッチ上側のステップとロッカースイッチ下側のステップがあるとみなして、シーケンス進行方向と呼びます。)

	ロッカースイッチ上側:1～8ステップの設定 ロッカースイッチ下側:9～16ステップの設定(デフォルト)
	ロッカースイッチ上側:奇数ステップ(1, 3, 5, 7・・・15ステップ)の設定 ロッカースイッチ下側:偶数ステップ(2, 4, 6, 8・・・16ステップ)の設定




○FM 音源音域設定

FUNC ボタンの FM-FREQ 設定によって調整できる FM 音源の FREQ(音の高さ)の音域を設定します。

	1オクターブ
	2オクターブ
	4オクターブ(デフォルト)

○クロックディバイダー

1ステップあたりの音の長さを選択します。

	8分音符
	16分音符(デフォルト)
	32分音符

○ CV1IN/CV2IN 端子パラメータ割り当て

裏面の CV1IN および CV2IN 端子に入力される電圧信号(CV 信号)によってコントロールするパラメータを選択します。

CV1 IN	CV1IN 端子割り当てパラメータ選択
CV2 IN	CV2IN 端子割り当てパラメータ選択

SHIFT ボタンを押しながら、CV1IN/CV2IN ボタンのいずれかを押すことで、割り当てるパラメータを切り替えます。パラメータの種類は下記の通りで、切り替え時にディスプレイに表示されます。

OFF	パラメータ割り当てなし(デフォルト)
FM-FREQ	FM 音源の FREQ をコントロール
MC-PITCH	MC 音源の PITCH をコントロール
FM-DEC	FM 音源のディケイタイムをコントロール
MC-DEC	MC 音源のディケイタイムをコントロール
NOISE	ノイズジェネレータのレベルをコントロール
E-DEPTH	ディレイの深さをコントロール




○ OPT1/OPT2 機能割り当て

FUNC ボタンの OPT1 および OPT2 に割り当てる機能を選択します。

OPT1	FUNC ボタン OPT1 の割り当て機能選択
OPT2	FUNC ボタン OPT2 の割り当て機能選択

SHIFT ボタンを押しながら、OPT1/OPT2 ボタンのいずれかを押すことで、割り当てる機能を切り替えます。機能の種類は下記の通りで、切り替え時にディスプレイに表示されます。

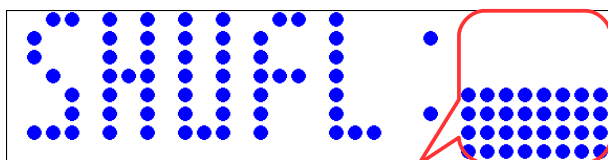
OPT1

	機能割り当てなし(デフォルト)
	FUSION インターフェースより入力された音声信号のステップごとの音量を調整します。(FUSION インターフェースからの音声信号を入力するためには、FUS.IN スイッチを ON にする必要があります。)
	MIDI シーケンサ機能において、MIDI OUT 端子から出力するステップごとのノートナンバー(音の高さ)を設定します。なお、MIDI チャンネルは 1 であり、音域はベース音の演奏を想定したものとなっています。(MIDI シーケンサ機能を利用するには、OPT2 も MIDI-SEQ に設定する必要があります。)

<div>OFF</div>	機能割り当てなし
<div>SEQ-ARR</div>	<p>シーケンスアレンジ機能 (デフォルト)</p> <p>この機能を選択した状態で、下記のステップボタンのいずれかを押すと、押している間、現在のシーケンスパターンに下記のアレンジを加えることができます。演奏中のリアルタイムでの操作を想定しているため、特に即興演奏に適した機能です。</p> <div><div>8ステップ でループ</div><div>6ステップ でループ</div><div>4ステップ でループ</div><div>3ステップ でループ</div><div>2ステップ でループ</div><div>1ステップ でループ</div><div>1/2ステップ でループ</div><div>1/3ステップ でループ</div></div> <div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>
<div>FUS.IN</div>	<p>FUSION インターフェースより入力された音声信号を出力するかどうか、ステップごとに ON/OFF を設定します。(FUSION インターフェースからの音声信号を入力するためには、FUS.IN スイッチを ON にする必要があります。)</p>
<div>MIDI-SEQ</div>	<p>MIDI シーケンサ機能において、MIDI OUT 端子からノート信号(発音信号)を出力するステップを選択します。また、各ステップのスラー/タイ(※)の ON/OFF を設定することも可能です。ステップボタンを押すたび、消灯⇒白色⇒赤色と切り替わり、それぞれ以下のように動作します。</p> <p>消灯: ノート信号を出力しないステップ 白色: ノート信号を出力するステップ (スラー/タイ OFF) 赤色: ノート信号を出力するステップ (スラー/タイ ON)</p> <p>(MIDI シーケンサ機能を利用するには、OPT1 も MIDI-SEQ に設定する必要があります。)</p> <p>※スラー/タイ: 次にノート信号が ON になるステップまで、発音を目いっぱい伸ばします。例を以下に示します。一般的なスラー/タイの印象となるかどうかは、接続する音源の特性によります。</p> <div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> <div></div>

○シャッフルレベル調整

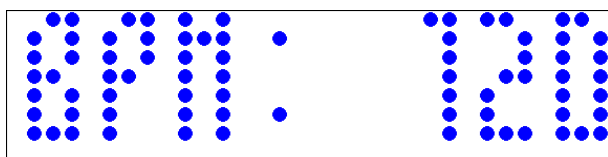
SHIFT ボタンを押しながら、一番左のステップつまみを回すとシャッフル(テンポの跳ね)のレベルを調整することができます。左端ではシャッフル OFF で、右に回すとシャッフルが強くなります。なおレベル調整中は、ディスプレイにレベルが表示されます。なお、調整した値は、次回電源投入時にも適用されます。



シャッフルレベル

○テンポの微調整

SHIFT ボタンを押しながら、一番右のステップつまみを回すとテンポを微調整することができます。調整中は、ディスプレイに現在のテンポを BPM(1分間あたりの拍数)で表示します。なお、調整した値は、次回電源投入時にも適用されます。



■MIDIシーケンサ機能

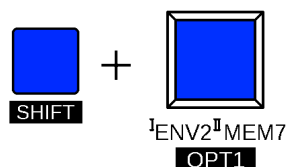
ファームウェアバージョン 2.10 以降の Cistron には、外部の MIDI 音源(特にベース音を得意とする音源)と接続し、Cistron と同期して演奏することを目的とした MIDI シーケンサ機能(MIDI チャンネル=1)が搭載されています。本機能を利用するには、以下の手順に従ってください。

①接続方法

MIDI ケーブルを用いて Cistron の MIDI OUT 端子と、外部 MIDI 音源の MIDI IN 端子を接続してください。

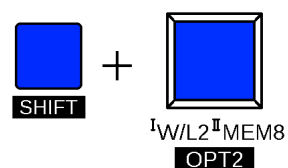
②OPT1 の機能を MIDI-SEQ に割り当てる

Cistron の SHIFT ボタンを押しながら、白抜き文字の OPT1 ボタンを押して OPT1 の機能を切り替え、「MIDI-SEQ」に設定してください。



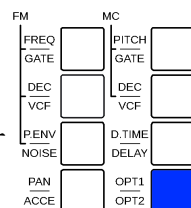
③OPT2 の機能を MIDI-SEQ に割り当てる

Cistron の SHIFT ボタンを押しながら、白抜き文字の OPT2 ボタンを押して OPT2 の機能を切り替え、「MIDI-SEQ」に設定してください。



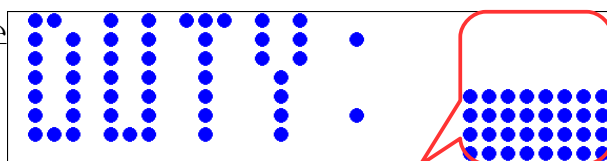
④OPT1/OPT2 の FUNC ボタンを選択する

OPT1/OPT2 の FUNC ボタン(右下の FUNC ボタン)を押して、MIDI シーケンサの編集モードに入ります。

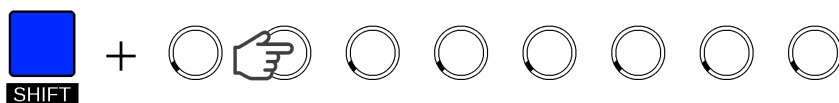


⑤発音する音の長さ(デューティ)を設定する

Cistron の SHIFT ボタンを押しながら、左から2番目のステップつまみを回すと発音する音の長さ(デューティ)を調整することができます。右に回すと長くなります。なお、調整した値は、次回電源投入時にも適用されます。



デューティの長さ



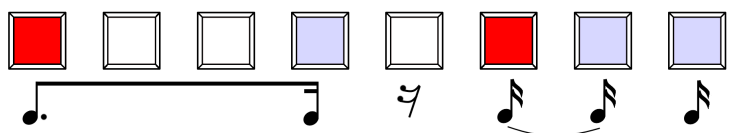
⑥ノート信号を出力(発音)するステップを選択する

ステップボタンを押して、ノート信号を出力(発音)するステップを選択します。各ステップのスラー/タイの ON/OFF を設定することも可能です。ステップボタンを押すたび、消灯⇒白色⇒赤色と切り替わり、それぞれ以下のように動作します。

消灯: ノート信号を出力しないステップ

白色: ノート信号を出力するステップ(スラー/タイ OFF)

赤色: ノート信号を出力するステップ(スラー/タイ ON)



⑦ステップごとのノートナンバー(音の高さ)を設定する

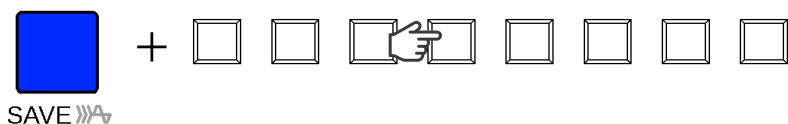
ステップつまみを回して、各ステップにおける音の高さを設定します。なお、音域はベース音の演奏を想定したものとなっています。



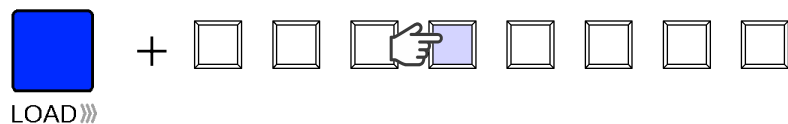
⑧シーケンスパターンの保存と読み出し

必要に応じて、作成した MIDI シーケンスパターンを保存します。FM 音源/MC 音源の場合と同様の操作を行うことによって、各 FUNC ボタン (FM 音源/MC 音源) の設定が保存・読み出しされると同時に、MIDI シーケンスパターンも保存・読み出しされます。

シーケンスパターン保存



シーケンスパターン読み出し



■FUSION インターフェース

Cistron 裏面には、REON 製の機器同士を接続して音声信号や制御信号をやり取りし、機能を拡張するための FUSION インターフェースという独自の端子を備えています。

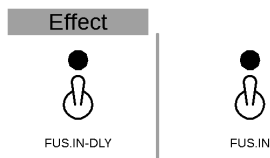
FUSION インターフェースに対応した機器同士を特殊な LAN ケーブルを使用して接続することで本機能を利用することができます。

○機能概要

現在のファームウェアバージョンでは、以下の機能を有しています

①入力した音声信号の出力・ディレイ機能

FUSION インターフェースから入力した音声信号を、Cistron 本体の音声とミックスして出力する機能を有しています。FUS.IN スイッチを ON にすることで、FUSION インターフェースから音声信号を入力し、出力が可能になります。さらに、FUS.IN-DLY スイッチを ON にすると、入力した音声信号にディレイをかけることができます。加えて、FUNC ボタンの OPT1/OPT2 を FUS.IN 機能に割り当てれば、ステップごとのレベルを調整することができます。詳しくは、38 ページをご覧ください。

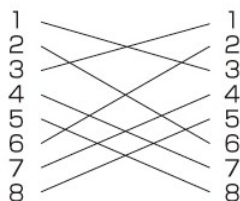


② Cistron のオーディオ信号出力機能

Cistron の最終のオーディオ信号を出力します。(OUTL/OUTR 端子の機能と同じ)

○対応する LAN ケーブル

LAN ケーブルは、下図のようなクロス結線(1000BASE-T)のものを使用してください。一般的なストレートタイプの LAN ケーブルとは異なりますのでご注意ください。



■ファームウェアアップデート

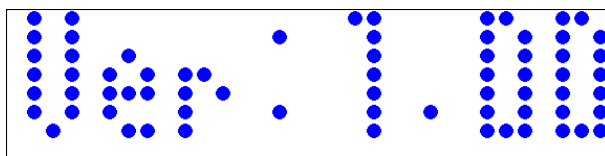
Cistron は、新しい機能の追加等のアップデートを将来にわたって実施します。アップデートファイルは、将来下記の REON 公式ホームページにて公開予定です。

2021 年 7 月現在、ホームページリニューアル準備中のため、データは公開されておられません。ご希望の際は、お手数ですが下記ホームページ上のお問い合わせフォームより、現在の Cistron のバージョンを明記いただき、Cistron アップデートファイル希望と記載の上、ご連絡くださいませ。

<http://www.reon-music.co.jp>

現在ご使用の Cistron のバージョンに対して、アップデート可能なデータがあるかどうかは、下記の手順でご確認いただけます。

①現在の Cistron のファームウェアバージョンを確認します。Cistron の起動中(ディスプレイに REON Cistron と表示中)に FM メモリボタンの MEM1 ボタンを押すと、押している間、下記のように現在のバージョン情報が表示されます。(下記例ではバージョン 1.00)



② REON 公式ホームページにて、公開中の Cistron 最新バージョンの番号を確認します。

手順①で確認した番号より大きな番号(上記例では 1.01、1.02、1.10、2.00 など)があれば、アップデート可能です。アップデートしたい場合は、該当の最新バージョンのファイルをダウンロードしてください。

③ダウンロード以降の手順については、ダウンロードファイル内の説明をお読みください。なお、ファームウェアアップデートに対応している OS は、現在は Windows のみです。

■トラブルシューティング

症状	考えられる原因	参照先
START/STOP ボタンを押してもシーケンスがスタートしない	裏面端子の LINEIN 端子にケーブルが接続されていませんか？ LINEIN が接続されている場合は録音モードとなり、シーケンスはスタートしません。	
	裏面端子の CLKIN 端子にケーブルが接続されていませんか？ CLKIN が接続されている場合は、外部からのクロック信号を受信しないとシーケンスは動きません。	
シーケンスをスタートしても音が鳴らない	マスターボリューム(VOL つまみ)が0になっていませんか？ また、 FM 音源の音量(FM-VOL つまみ)または MC 音源の音量(MC-VOL つまみ)が0になっていませんか？	
	FM 音源または MC 音源のディケイタイム(FM-D つまみ、 MC-D つまみ)が0になっていませんか？	
	FM 音源または MC 音源のアタックタイム(FM-A つまみ、 MC-A つまみ)が長くなって(右端付近)いませんか？	
	VCF のフィルタの周波数(FREQ つまみ)が左端付近にありますか？	
	FUNC の FM-FREQ/GATE ボタン(左上 FUNC ボタン)を押して、ステップに音をセットしましたか？ また、 FUNC の MC-PITCH/GATE ボタン(右上 FUNC ボタン)を押して、ステップに音をセットしましたか？	20 ページ 23 ページ
	ON/OFF ボタンを押したとき、演奏対象の音が意図せず発音 OFF (消灯)になっていませんか？	28 ページ
特定の音色や特定のステップの音が鳴らない	ON/OFF ボタンを押したとき、特定の音色が意図せず発音 OFF (消灯)になっていませんか？	28 ページ
	FUNC の DEC/VCF ボタンでステップつまみを動かしたことで、特定のステップのディケイタイムが0になっていませんか？	27 ページ

症状	考えられる原因	参照先
特定の音色や特定のステップの音が鳴らない	FUNC の PAN/ACCE ボタンでステップつまみを動かしたことで、特定のステップのパンポットが左右どちらかに振り切れていませんか？	27 ページ
メモ리카ードに入れた音が再生されない、読み込めない、または音がおかしい	REON 提供でないメモ리카ードを用いた場合、メモ리카ード内に MEM1 、 MEM2 、 MEM3 、 MEM4 の4つのフォルダを作成し、それらのフォルダの中に音声データを入れましたか？また FAT32 形式でフォーマットされていますか？	22 ページ
	メモ리카ードに入れた音声データは、以下の対応フォーマットの WAV ファイルですか？（対応フォーマット： 8bit または 16bit 、 44.1kHz または 48kHz 、モノラルまたはステレオ）	22 ページ
	各フォルダ内に入れる WAV ファイルの数は、読み込み上限数である 16 ファイルを超えていませんか？	
メモ리카ードへの録音がうまくいかない、 RECErr となる	メモ리카ード本体のプロテクト(Lock)スイッチが ON になっていませんか？(Protect と表示されます)	24 ページ
	メモ리카ードへの録音を行うには、メモ리카ードに書き込みスピード性能が要求されます。録音には、 30MB/S (UHS-III,V30 等) 以上のスピードを持つメモ리카ードを使用することを推奨しています。	24 ページ
	メモ리카ードに、 WAV ファイル以外のデータを入れていませんか？メモ리카ードの容量上は問題がない場合であっても、多くのデータを入れることでスピードが低下する可能性があります。	24 ページ
	メモ리카ードは、過去に多くのデータ読み書き、消去をして使い込んだものではありませんか？このようなメモ리카ードはスピードが不足する可能性があります。対策として、データをバックアップの上、再フォーマットする方法があります。	24 ページ

症状	考えられる原因	参照先
FM 音源のメモリボタンを押しても音色が切り替わらない	BTNI/BTNII スイッチが BTNI (上側) になっていませんか？ MEM1~8 を切り替えるのは、BTNII の機能となります。	19 ページ
ステップつまみやステップボタンを操作しても反応しない	パターンチェーンモード (LOAD ボタンが常に点灯した状態) になっていませんか？ パターンチェーンモードでは、FUNC ボタンによるステップつまみ・ステップボタンの機能は使用できません。	29 ページ
FUNC ボタンが反応しない	パターンチェーンモード (LOAD ボタンが常に点灯した状態) になっていませんか？ パターンチェーンモードでは、FUNC ボタンによるステップつまみ・ステップボタンの機能は使用できません。	29 ページ
テンポが意図せずシャッフル (跳ね) になっている	SHIFT ボタンを押しながら一番左のステップつまみを操作し、シャッフルレベルを調整してください。左端に回すと、シャッフルが OFF になります。	40 ページ
テンポの可変範囲が変わっている	SHIFT ボタンを押しながら一番右のステップつまみを操作すると、テンポを微調整できます。微調整により、テンポの可変範囲に変化が生じます。	40 ページ

■仕様

製品名称:	Cistron (FMリズムマシン)
製品品番:	RE-FU001
消費電流:	約 1000mA (5W)
サイズ:	幅 265 x 奥行 185 x 高さ 75 (mm)
重量:	約 1200g ※AC アダプタ含まず
デジタル音源部:	REON オリジナル FM 音源 MC(Memory Card)音源(.wav または本体で録音)
アナログ音源部:	ノイズジェネレータ、VCF、VCA、パンポット、ディレイ
シーケンサー部:	外部同期機能(USB、MIDI IN/OUT、CLKIN/OUT) ステップ数設定可能(最大16ステップ) FM 音域設定(1Octave, 2Octave, 4Octave) クロックディバイダー(8分音符、16分音符、32分音符) シーケンス保存メモリ×8個
ツマミ・ボタン:	FM 音源コントロールツマミ(FREQ、MOD、ENV、LFO/WAVE) FM 音源メモリ&選択ボタン×8 個 MC 音源コントロールツマミ(PITCH、BITCRASH) MC 音源メモリ選択ボタン×4 個 ノイズレベルコントロールツマミ VCF コントロールツマミ(FREQ、RESO、MOD) VCA (EG) コントロールツマミ(FM/MC-Attack,Decay) DELAY コントロールツマミ(D.Time、F.Back、E.Depth) テンポコントロールツマミ ボリュームコントロールツマミ(FM 音量、MC 音量、マスター音量)
接続端子:	5V AC アダプタ USB タイプ B

メモリカード
 FUSION IF (REON オリジナル接続端子)
 MIDI IN (DIN 端子)
 MIDI OUT (DIN 端子)
 CLOCK IN/OUT (ミニジャック)
 LINE INPUT (ミニジャック)
 CV1 INPUT (ミニジャック)
 CV2 INPUT (ミニジャック)
 ヘッドホン出力 (ミニジャック)
 AUDIO L/R OUTPUT (標準ジャック)

その他: ツマミの動きを覚える Knob Recording 機能
 USB によるファームウェアアップデート機能

■MIDI インプリメンテーションチャート

	送信	受信	備考
チャンネル	1	×	MIDI シーケンサ機能使用時
ノートナンバー	28 ~ 59	×	MIDI シーケンサ機能使用時
ベロシティ	96	×	MIDI シーケンサ機能使用時
リアルタイム クロック コマンド	○ ○	○ ○	
その他	×	×	ただし、MIDI IN 端子から入力された ノート信号等は、MIDI OUT 端子より 出力する(スルー)

■故障、メンテナンスに関して

故障、ご質問に関しては、ご購入いただきました販売店または下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

〒573-0005

大阪府枚方市池之宮 1-5-61 REONビル 開発センター

電話:072-805-2320

FAX: 072-805-2321

メールによるお問い合わせ

弊社正規サイトよりメールをお送りください。

<http://www.reon-music.co.jp>

< ! > 本書の許可なき複写、転写、インターネット等への投稿、公開を禁じます。

■保証書

本書は再発行しませんので、大切に保管してください。

製品保証	製品名称: Cistron	製品品番: RE-FU001
ご購入日時: 令和 年 月 日 保証期間 左記日時より2カ年		
ご購入者:		
氏 名:		
ご住所: 〒		
電話番号		
販売店: REON 直販・店舗・ネット・代理店		

株式会社 REON
〒573-0005
大阪府枚方市池之宮 1-5-61 REONビル 開発センター
電話:072-805-2320
FAX: 072-805-2321

営業時間 平日 9:30 ~ 18:00 (※土日祭日、年末年始を除く)



REON